

平成30年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（12月14日現在）

（下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム ①番窓口 で見ることができます。）

奨学団体等	必要資格	支援機構奨学金との重複	対象学年 （注意：平成30年4月時点の学年）	金額	給付・貸与の別	募集人員 （全国で）	募集要項の ＜請求先＞	申請書類の ＜提出先＞	提出期限
フジクラ育英会奨学金	次の全てを満たす者 (1)大学または大学院に在学している (2)学力、人物、健康共に優れている (3)学費の支弁が困難と認められる (4)日本国籍を有する	可	平成31年4月1日時点で 学部2,3,4年生の者	学部学生 月額3万円 大学院生 月額4万円	貸与 （無利子）	三重大大学の推薦枠 1名 ※学部生を優先	大学 （学生支援チーム ①番窓口）	大学 （学生支援チーム ①番窓口）	1月21日 （17時15分）
平成31年度 殿町奨学基金	(1)学習意欲が高いにもかかわらず経済的理由により学習機会に恵まれない学生 (2)平成31年4月1日時点で学部2,3,4年生の者	可	平成31年4月1日時点で 学部2,3,4年生の者	年額24万円 （年2回12万円ずつ支給）	給付	30数名程度	大学 （学生支援チーム ①番窓口）	大学 （学生支援チーム ①番窓口）	1月21日 （17時15分）
平成31年度馬場財団 国際理解教育人材養成奨学金	次の各号の全てに該当する者 (1)原則として3ヶ月以上12カ月以内の海外留学を計画し、本奨学金の受給決定以降、平成31年度内に留学を開始する予定の者。 (2)留学開始時において、日本国内の大学（以下、「大学」という。）の学部2年次（1年次修了）以上、又は教職大学院に正規生として在籍する日本人学生。在籍大学は寄附者との協議の上選定した指定校制とする。 (3)大学卒業後に初等中等教員となることを目指し、教職課程を履修する者、または教職課程を修了し、免許取得済の者。 (4)本奨学金の支給期間中、海外留学支援を目的とする他の奨学金の支給を受けない者（貸与型（返済が必要なもの）奨学金、学費免除及び一時金は除く）。 (5)留学の目的又は計画が明確で、就学の効果が期待できる者。なお、留学先機関（以下「留学先」という。）での履修科目の1つとして、教育課程論、カリキュラム論を履修することが望ましい。 (6)心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。 (7)在籍大学の長の推薦を受けることができる者。	給付型奨学金は不可。	平成31年度に留学する者のうち、留学開始時点において学部2年次以上の学生。 又は教職大学院に正規生として在籍する日本人学生。	(1)月額 10万円 (2)留学準備金 アジア地域 15万円 その他の地域 25万円 留学開始から終了まで （ただし3ヶ月以上12カ月以内とする）	給付	7名程度	大学 （学生支援チーム ①番窓口）	大学 （学生支援チーム ①番窓口）	12月28日 （17時15分）
似鳥国際奨学財団	1:日本国籍を有する者（永住権を有する者も可） 2:2019年9月時点で学部課程の1,2,3,4年生に正規生として在籍する者。 ※6年制大学の、5年、6年に正規生として在籍する者も応募可能。 ※ただし、「修士」・「博士」・「全日制以外の学生」・「短期大学生」は応募対象外とする 3:学業、人物共に優秀であり、健康である。国際理解と国際間の有効親善に寄与できる者。 4:①当財団は他給付型奨学金との二重受給は認めない。ただし、貸与型奨学金並びに大学の授業料減免は認める。 ②当財団奨学金と他給付型奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。 ③当財団奨学金と同時に他給付型奨学金を受給した場合には、直ちに当財団の奨学生資格が取り消され、重複期間中の奨学金を全額返済しなければならない。	給付型奨学金は不可 貸与型奨学金、授業料減免は可	平成31年9月時点で日本国内の 大学の2,3,4年に在籍・ 在籍予定の日本人学生	自宅生 5万円 （月額） 自宅外生 8万円 （月額）	給付型 （1年間支給）	100名	似鳥国際奨学財団 ホームページ（リンク）	似鳥国際奨学財団 ホームページ（リンク） にてWEBエントリー	4月30日 （締切が早まる可能性があるので、早めのエントリーを推奨）
山梨県ものづくり人材修学支援事業費補助金	申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部、もしくはこれに準ずる学部、研究科等（以下、「大学等」という。）に在学し、次の各号のすべてに該当する学生を対象とします。 1.独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていること 2.平成30年度卒業予定者については平成31年9月末までに、平成31年度卒業予定者については平成32年9月末までに、対象業種企業における、企画・開発・製造部門への就職を希望していること 3.平成30年度卒業予定者については平成31年4月初日を、平成31年度卒業予定者については平成32年4月初日を起点とした10年間に、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること 4.平成30年度または平成31年度に卒業予定であること	返還支援	平成30年度又は 平成31年度に 卒業予定の者	卒業前2年間に 貸与を受けた金額 ※支援金額に上限有	返還支援	平成31年度 就職予定者から 24名 平成32年度 就職予定者から 35名	山梨県産業労働部 ホームページ 応募書類（リンク）	山梨県産業労働部 ホームページ（リンク）	3月29日 ※募集人員に達した ところで締切ます

奨学団体等	必要資格	支援機構 奨学金 との重複	対象学年 (注意:平成30年4月時点の学年)	金額	給付・貸与 の別	募集人員 (全国で)	募集要項の ＜請求先＞	申請書類の ＜提出先＞	提出期限
公益財団法人 鹿児島県育英財団	次の①、②のいずれかに該当し、かつ③から⑤までの全てに該当する者 ①鹿児島県内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校の高等部、高等専門学校及び専修学校(高等課程)(以下、「高等学校等」という。)を卒業した者。 ②鹿児島県外の高等学校等を卒業した者又は高等学校卒業程度認定試験合格者(県内に生活の本拠を有する者の子等で、県内の中学校を卒業した者に限る。) ③大学又は大学院(以下「大学等」という。)に在学し、平成32年3月(平成31年度中を含む。)に大学等を卒業(修了)予定の者。 ④日本学生支援機構第一種奨学金又は鹿児島県育英財団大学等奨学金の貸与を受けている者又は貸与を受けていた者。 ⑤大学等を卒業(修了)後、県内企業等に就職する意思があり、かつ県内居住を希望する者。 ※就職先の指定有。ホームページを参照のこと ※その他、鹿児島県が実施する奨学金又は、鹿児島県育英財団が実施する奨学金を受けていた者は申請できません。 詳しくはHPを確認のこと。	返還支援	現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (平成31年度中に大学もしくは 大学院を卒業又は修了予定の者)	在学中に借り受けた奨学金の全額 ※ただし、返還期限猶予の適用を受けた場合は、その期間相当の奨学金を除いた額とする。ただし、大学等卒業(修了)後、引き続き上級学校へ進学した期間は支援対象に含める。	返還支援	20人程度	公益財団法人 鹿児島県育英財団 ホームページ(リンク)	公益財団法人 鹿児島県育英財団 ホームページ(リンク)	10月1日～ 1月9日 (応募書類必着)
三重県 (奨学金返還支援制度)	以下のすべてに該当する者 1. 申請時に最終学年の1年前の学年以上の在 student で、就職先が決まっていない者 2. 指定地域への定住を希望する者 ※指定地域は募集要項に記載 3. 常勤雇用または個人事業主として就業する予定の者(ただし公務員は除く。) 4. 日本学生支援機構第一種奨学金又はこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定の者 5. 平成30年3月31日時点で35歳未満の者	返還支援	学部2年生以上 大学院1年生以上	在学中に 借受予定の奨学金 総額の1／4 (上限100万円)	返還支援	20名	大 学 (学生支援チーム)	三重県戦略企画部 ホームページ(リンク)	1月11日 (17時) (応募書類必着) ※郵送の場合は配達証明郵便を使用すること
(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学)	月額 5万, 8万, 10万 円	貸与 (無利子)	20名	(財)交通遺児育英会(リンク)	(財)交通遺児育英会 提出期限の1週間前までに 大学に推薦書の作成を 依頼すること	10月31日
			大学院予約(学部最終学年)						(1次)8月31日
			学部生	月額 4万, 5万, 6万 円		300名			(2次)1月31日
みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院	日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生	卒業後の進路に指定のある奨学金との重複は不可	医科大学・大学医学部の学部生	月額 10万円 月額 15万円	貸与 (返還免除制度あり)	記載なし	津生協病院 ホームページ(リンク)	津生協病院 ホームページ(リンク)	随時

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 平成31年4月30日 (それ以前に 内容更新があった場合は、その更新(差替え)時 まで)